

令和三年度 励ましのことば

本日、晴れの日を迎えられた皆さん、御卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。思い出深い学び舎を巣立ち、大きな夢や目標を持って、新たな活躍の場に踏み出そうとされる皆さんの門出に当たり、励ましのことばを贈ります。

皆さんが高等学校で過ごした年月は、人としての土台づくりの時期といえます。予期せぬ一斉休校や大会、コンクールの中止や延期など、挑戦する機会を失う悔しさと、マスク越しで会話することしかできないもどかしさに、皆さんは大いに悩んだことでしょう。しかし、この場に立つ友人や後輩、先生方と同じ時間を共有し、つらいことも楽しいことも分かち合う高校生活の中で、皆さんは厚い友情や強い信頼を育んできました。そして、これまでの当たり前を見直し、工夫して困難に立ち向かう術を身につけてきたのではないのでしょうか。皆さんにとって、卒業とは終わりではなく、新たな目標に向かう旅立ちのときです。どうか、

これまで過ごしたかけがえのない高校生活を
支えに、勇気ある一步を踏み出してください。

皆さんが目標を一つに全力で取り組んだこ
ととして、昨年、五十四年ぶりに本県を中心に
開催された北信越インターハイがあります。
この大会で、選手らは参加できる喜びを胸に
各地で熱戦を繰り広げ、福井県勢としては、ボ
ート、体操、ホッケーで優勝を飾ったほか、多
くの競技で入賞を果たしてくれました。

選手の皆さんの活躍はもちろんです。開
幕の二年以上前から準備してきた広報活動や、
渾身のパフォーマンスで歓迎と応援の気持ち
を表した総合開会式、機敏に働く補助員の姿
と、どの瞬間も、福井県の高校生一人ひとりが
主役となった、素晴らしい大会でした。前年度
の北関東インターハイが中止となったとき、
当たり前前だと思っていた学校生活や行事、部
活動の価値をあらためて問い直したことでし
ょう。この皆さんの経験があったからこそ、一
人ひとりが自らの役割を全うすることで団結
し、全国の高校生や大人に勇気と希望を与え
る大会をつくりあげることができたのだと思
います。

県では令和二年七月に、二十年後の福井の目指す姿を描く「福井県長期ビジョン」を策定しました。その目指す姿の一つに、「誰もが主役のふくい」を掲げています。社会構造や人々の暮らしが大きく変わるこれからの時代において、多様な個性を大事にし、自分らしく輝くためには、国籍や人種、文化の違いを越えて目標や価値を共有し、一人ひとりがもつ自らの個性や能力を生かしながら、未知の課題に向けて挑戦することが必要です。

これまで皆さんは、地域の課題や科学の真理に向き合う探究学習や課題研究などの学習、そして、仲間と団結して成功に導いた学校祭などの学校行事を通して、異なる個性や能力をもつ友人達と協力しながら目標に向かって努力し、工夫しながら困難を乗り越える経験をしてきたことと思います。自らと真摯に向き合い、友人や先輩、後輩、そして先生方と励まし合いながら積み重ねた豊かな時間や温かい絆、そして一人ひとりが培った輝く個性や能力を生かしながら、ふるさと福井を忘れずに、自らの信じる道を力強く歩んでください。

皆さんの活躍を大いに期待しています。

最後になりましたが、今日まで、皆さんを限りない愛情で育て、励まし、支え続けてこられた御家族の皆さまに敬意を表すとともに、校長先生をはじめ諸先生方の御指導、同窓会ならびに関係の皆さま方の多大なる御支援に心から感謝を申し上げ、励ましのことばといたします。

令和四年三月吉日

福井県教育委員会